

2.2 介護扶助の介護給付費明細書記載例

(1) 居宅サービス（様式第二）の記載例 1

介護保険と生活保護の併給。サービス対象月を通じて介護扶助の対象であり、公費本人負担額が5000円の場合。

公費負担者番号	1	2	×	×	×	×	×	×
公費受給者番号	○	○	○	○	○	○	○	○

介護券に記載された公費負担者・受給者番号

(途中の欄は省略)

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	公費分回数	公費対象単位数	摘要
	複合型介護 3	1 1 3 3 1 1	4 0 3	1 5	6 0 4 5	1 5	6 0 4 5	
	身体介護 1・夜朝	1 1 1 1 1 2	2 6 3	2 2	5 7 8 6	2 2	5 7 8 6	
	併設通所介護 2 重度	1 5 2 3 3 1	6 6 0	8	5 2 8 0	8	5 2 8 0	
	通所介護食事加算	1 5 5 1 0 0	3 9	8	3 1 2	8	3 1 2	
	通所介護送迎加算	1 5 5 2 0 0	4 4	1 6	7 0 4	1 6	7 0 4	

請求額集計欄	①サービス種類コードの名称	1 1	訪問介護	1 5	通所介護								
	③サービス実日数	2 2	日	8	日								
	④計画単位数	1 1 8 0 0		6 2 9 6									
	⑤限度額管理対象単位数	1 1 8 3 1		6 2 9 6									
	⑥限度額管理対象外単位数												
	⑦給付単位数(④⑤のうち少ない数)+⑥	1 1 8 0 0		6 2 9 6									
	⑧公費分単位数	1 1 8 0 0		6 2 9 6									
	⑨単位数単価	1 0 6 0	円/単位	1 0 6 0	円/単位								
	⑩保険請求額	1 1 2 5 7 2		6 0 0 6 3									
	⑪利用者負担額												
	⑫公費請求額		7 5 0 8	6 6 7 4									
	⑬公費分本人負担		5 0 0 0										

生活保護の給付率 100 (%)

給付率 0)

保険 9 0

公費 1 0 0

合計

1 7 2 6 3 5

11800 × 10.60 (小数点以下切り捨て) = 125080 (総費用額)
 125080 × 90/100 (小数点以下切り捨て) = 112572

介護券に記載された本人支払額

125080 (総費用額) - 112572 - 5000 = 7508
 (公費負担率 100/100 の場合、総費用から他の請求額等を差し引いた残りの額が当該公費の請求額となる)

(3) 居宅サービス（様式第二）の記載例 3

生活保護単独。サービス対象月を通じて介護扶助の対象であり、公費本人負担額が 5000 円の場合。

公費負担者番号	1	2	×	×	×	×	×	×
公費受給者番号	○	○	○	○	○	○	○	

(途中の欄は省略)

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	公費分回数	公費対象単位数	摘要
	複合型介護 3	1 1 3 3 1 1	4 0 3	1 5	6 0 4 5	1 5	6 0 4 5	
身体介護 1・夜朝	1 1 1 1 1 2	2 6 3	2 2	5 7 8 6	2 2	5 7 8 6		
併設通所介護 2 重度	1 5 2 3 3 1	6 6 0	8	5 2 8 0	8	5 2 8 0		
通所介護食事加算	1 5 5 1 0 0	3 9	8	3 1 2	8	3 1 2		
通所介護送迎加算	1 5 5 2 0 0	4 4	1 6	7 0 4	1 6	7 0 4		

請求額集計欄	①サービス種類コード②名称	1 1	訪問介護	1 5	通所介護	給付率 (/100)	
	③サービス実日数	2 2	日	8	日	日	日
④計画単位数	1 1 8 0 0	6 2 9 6					
⑤限度額管理対象単位数	1 1 8 3 1	6 2 9 6					
⑥限度額管理対象外単位数							
⑦給付単位数(④⑤のうち少ない数)+⑥	1 1 8 0 0	6 2 9 6					
⑧公費分単位数	1 1 8 0 0	6 2 9 6					
⑨単位数単価	1 0 6 0 円/単位	1 0 6 0 円/単位					
⑩保険請求額							
⑪利用者負担額							
⑫公費請求額	1 2 0 0 8 0	6 6 7 3 7					1 8 6 8 1 7
⑬公費分本人負担	5 0 0 0						5 0 0 0

6296 × 10.60 (小数点以下切り捨て) = 66737 (総費用額)
 66737 × 100/100 (小数点以下切り捨て) = 66737

介護券に記載された本人支払額

11800 × 10.60 (小数点以下切り捨て) = 125080 (総費用額)
 125080 (小数点以下切り捨て) - 5000 = 120080
 (公費負担率 100/100 の場合総費用から他の請求額等を差し引いた残りの額が当該公費の請求額となる)

(4) 施設サービス（様式第十）の記載例

介護保険と生活保護併給の場合の記載例。

公費負担者番号	1	2	×	×	×	×	×	×
公費受給者番号	○	○	○	○	○	○	○	○

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数 日数	サービス単位数	公費分 回数等	公費対象単位数	摘要
	療養型施設 I 3	5 3 2 1 3 1	1 2 8 5	3 0	3 8 5 5 0	3 0	3 8 5 5 0	
	合計					3 8 5 5 0	3 8 5 5 0	

特定診療費	区分	保険分 (単位)	公費分 (単位)	傷病名	胃潰瘍
	1. 指導管理等	178	178	摘要 @08 介護栄養食事指導	178×1
	2. 単純ワークス線				
	3. リハビリテーション				
	4. 精神科専門療法				

3850×10.40 (小数点以下切り捨て) = 400920 (総費用)
 $400920 \times 90/100$ (小数点以下切り捨て) = 360828

400920 (総費用額) - 360828 = 40092

請求額集計欄	区分	保険分		公費分		保険分特定診療費		公費分特定診療費													
	①単位数合計	3	8	5	5	0	3	8	5	5	0			1	7	8			1	7	8
	②単位数単価	1	0	▲	4	0	円/単位	10円/単位		10円/単位											
	③給付率	9	0	/100	1	0	0	/100	9	0	/100	1	0	0	/100						
	④請求額 (円)	3	6	0	8	2	8	4	0	0	9	2	1	6	0	2	1	7	8		
	⑤利用者負担額 (円)																				

$178 \times 10 = 1780$ (総費用)
 $1780 \times 90/100$ (小数点以下切り捨て) = 1602

1780 (総費用額) - $1602 = 178$
 (公費負担率 100/100 の場合、総費用から他の請求額等を差し引いた残りの額が当該公費の請求額となる)

(5) 施設サービスの記載例

介護保険と生活保護の併給。基本食 20 日特別食 10 日の場合。

食事提供費用欄

食事提供費用合計 - 公費請求分
 $67100 - 9000 = 58100$

食事費用欄	食事提供費					標準負担額 (月額)		食事提供費請求額		標準負担額									
	基本	日数	2	0	単価	2	1	2	0	金額	4	2	4	0	0				
	特別食	日数	1	0	単価	2	4	7	0	金額	2	4	7	0	0				
	延べ日数	3	0	公費日数	3	0	合計	6	7	1	0	0	公費請求分	9	0	0	0		

標準負担額 × 公費日数